



■山本校区の歴史年表■

山本校区のできごと	時代	西 暦	日本のできごと
	旧石器	20,000	狩り・漁労・採集などで生活する
	縄文	10,000	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる 落とし穴での狩りが盛ん
●兜山の山頂に人々が生活（兜山遺跡）	弥生	400 紀元前	稲作が伝わる
●壘棺墓が営まれる（尾畑遺跡）	弥生	紀元後	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める
	古墳	300	
●水縄山地北麓にたくさんの群集墳がつくられる（西屋敷古墳群、前畑・立野古墳群など）	古墳	500	筑紫君磐井の乱（527） 仏教伝来（538） 群集墳が盛んにつくられる
	飛鳥	600	
●観興寺が建てられる	飛鳥	700	大化の改新（645） 白村江の戦いで大敗北（663） 筑紫大地震（679） 平城京に都を移す（710） 筑後国府・国分寺がつくられる
●永勝寺が建てられる	奈良	700	
	平安	800	平安京に都を移す（794）
●老松神社が建てられる（950年頃？） ●不光院遺跡の溝が埋まる ●千光寺が栄西によって建てられる（建久2・1192）	平安	800	
●谷山城が南朝方の最前線基地となる ●草野永平が千光寺に梵鐘を寄進（永和3・1377）	鎌倉	1200	鎌倉幕府の成立（1192） 室町幕府の成立（1338）
	室町	1400	
●戦乱によって、寺社が衰微 ●御井郡・山本郡境界標が建てられる（元禄8年・1695）	桃安山土	1500	応仁の乱（1467） 豊臣秀吉の天下統一
	江戸	1600	江戸幕府の成立（1603） 久留米城下町ができる（1624～44）
	江戸	1900	明治維新（1868）

31	山本町西屋敷古墳群	古墳	平成4年に2基の古墳を調査し、石棺からは耳飾や玉、鉄製の武具などが出土しています。
32	阿弥陀堂跡	鎌倉・室町	享禄2年（1529）年の銘がある石碑が残っています。
33	東谷遺跡		土器などが採集されています。
34	山シブ遺跡	弥生	土器などが採集されています。
35	尾畑遺跡	弥生	弥生時代の壘棺墓が九州大学によって調査されています。
36	落間遺跡	縄文	石棒が発見されています。
37	一ノ谷遺跡	古墳	土器などが採集されています。
38	泉遺跡	中世	地名などから有力者の館があったと考えられる遺跡です。
39	不光院遺跡	古墳～中世	昔は観興寺の一部だったと伝えられる場所で、平成7年には調査を行い、溝などが見つかっています。
40	西宮ノ上遺跡	平安～江戸	土器などが採集されています。
41	不動上遺跡	古墳～江戸	土器などが採集されています。
42	不動島遺跡	古墳～鎌倉	土器などが採集されています。
43	観興寺遺跡	奈良～江戸	土器などが採集されています。
44	南山ノ下遺跡	古墳～鎌倉	土器などが採集されています。
45	前畑・立野古墳群	古墳	円墳30基以上が見つかっています。

■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です
40	絹本着色観興寺縁起	絵画 (国指定)	観興寺の創建にかかわる伝説と、繁栄の様子が描かれた絵縁起で、現在は京都国立博物館に寄与されています。
41	千光寺梵鐘	工芸品 (県指定)	草野氏が寄進した鐘で、南北朝時代の永和3年（1377）の銘があります。
42	柳坂曾根の榎並木	天然記念物 (県指定)	高曾根川の堤防に、南北約1.1kmにわたり180本の榎が植えられ、紅葉の時期は多くの人で賑わいます。
43	永勝寺のケンボナン	天然記念物 (市指定)	クロウメモドキ科の高木で、県内には類例が少ない貴重な樹木です。
44	永勝寺の古瓦	有形文化財 (市指定)	「柳坂山 戌」の文字が記された軒平瓦で、応永5年（1398）に作られたと考えられます。
45	柳坂のアカメヤナギ	天然記念物 (市指定)	高さ20mの大木で、樹齢は200年以上といわれています。
46	上野家庭園	名勝 (市指定)	兜山を借景とした回遊式の庭園で、上野家には文久4年・明治38年の家相図も残されています。
47	山本郡・御井郡 郡界標	有形民俗文化財 (市指定)	山辺道沿いに元禄8年（1695）に建てられ、江戸時代の地理や交通のようすがわかる資料です。